＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	近畿エコブランド住宅
グループの名称	近畿エコガラス普及促進地域協議会
直近採択グループ番号	06-0096-0543

（グループ代表者）

代表者名	山下　義一　代表者印
代表者所属先	近畿エコガラス普及促進地域協議会
代表者所在地	大阪府大阪市天王寺区大道
代表者電話番号	06-6771-7341

（グループ事務局）

事務局事業者名	山下硝子建材株式会社
事務局担当者名	山下　隆之　印
事務局郵便番号	543-0052
事務局所在地	大阪府大阪市天王寺区大道5丁目5番2号
事務局電話番号	06-6771-7341
事務局FAX	06-6779-3217
事務局担当者E-mail	honsya@y-gk.com

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	近畿エコブランド住宅
２．グループの名称(必須)	近畿エコガラス普及促進地域協議会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0096-0543
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	近畿圏
５．結成年(必須)	2009　年
６．グループ代表者名(必須)	山下　義一
７．グループ代表者の所属先(必須)	近畿エコガラス普及促進地域協議会
８．グループ代表者所在地(必須)	大阪府大阪市天王寺区大道
９．グループ代表者電話番号(必須)	06-6771-7341
１０．グループ事務局事業者名(必須)	山下硝子建材株式会社
１１．グループ事務局担当者名(必須)	山下　隆之
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	543-0052
１３．グループ事務局所在地(必須)	大阪府大阪市天王寺区大道5丁目5番2号
１４．グループ事務局電話番号(必須)	06-6771-7341
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	06-6779-3217
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	honsya@y-gk.com

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	12	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	12	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	6	
Ⅳ．プレカット	10	
Ⅴ．設計	5	
Ⅵ．施工	16	
Ⅶ．木材を扱わない流通	1	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	7	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
Ａ．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	■　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	■　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	■　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	■　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	紀州材	和歌山県	紀州材認証システム	1	国内
	美作桧	岡山県	合法木材認証制度	1	国内
	合法木材	認証各地	合法木材認証制度	1	国内
	構造用集成材	国外	PEFG認証制度	2	国内
	合法木材	宮崎県	SGEC認証制度	2	国内
	奈良県産材	奈良県	奈良県地域材認証制度、奈良県産材証明制度	1	国内
	おおさか材	大阪府	おおさか材認証制度	1	国内
	広島県産材	広島県	広島県産材産地証明制度	1	国内
	三重の木	三重県	「三重の木」認証制度	1	国内
	ドライビーム・ハイブリッドビーム	国内・国外	合法木材認証制度	3	国内

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		17	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	8	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		9	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	5	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	1	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		21	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	10	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	1	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		38	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	18	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	1	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		38	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	18	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	1	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		38	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	18	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	1	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		38	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	18	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	1	戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	1	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		38	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	18	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		7	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	1	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	5	棟	
			1500	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	3	棟	
			1000	㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	1.長期優良住宅等の未経験工務店への配分を最優先とする。 2.経験を問わず今年度実績が見込まれる先を第二優先とする。 3.未経験工務店に対する技術的指導サポートを担う工務店を第三優先とする。

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）									
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）									
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）									
	採択戸数	3	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸	
	優良建築物型									
	採択棟数	1	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸	
	採択床面積	200	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積	0	㎡	

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
34	Ⅰ － 1	ひろしま木材事業協同組合		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目1番1号	0823-71-7141
39	Ⅰ － 2	梼原町森林組合		785-0644	高知県高岡郡檮原町広野647番地	0889-65-0121
30	Ⅰ － 3	山長林業株式会社		646-0011	和歌山県田辺市新庄町2015	0739-22-1779
30	Ⅰ － 4	株式会社山長商店		646-0011	和歌山県田辺市新庄町377	0739-22-2605
27	Ⅰ － 5	大阪府森林組合		569-1051	大阪府高槻市原1052番地の1	072-698-0950
32	Ⅰ － 6	須山木材株式会社		693-0006	島根県出雲市白枝町139番地	0853-28-0888
33	Ⅰ － 7	岡山県森林組合連合会		700-0866	岡山県岡山市北区岡南町2丁目5番地10号	086-222-7671
43	Ⅰ － 8	肥後木材株式会社		861-8012	熊本県熊本市東区平山町2986-11	096-389-0022
28	Ⅰ － 9	株式会社木栄		669-3821	兵庫県丹波市青垣町桧倉323番地の3	0795-87-5216
24	Ⅰ － 10	熊野原木市場協同組合		519-4563	三重県熊野市飛鳥町小阪1001	0597-84-1100
27	Ⅰ － 11	矢崎木材株式会社		567-0874	大阪府茨木市奈良町7番32号	072-622-6370
45	Ⅰ － 17	木脇産業株式会社		885-1105	宮崎県都城市丸谷町458	0986-36-0533
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅱ＞

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
39	Ⅱ － 2	梼原町森林組合		785-0644	高知県高岡郡檮原町広野647番地	0889-65-0121
30	Ⅱ － 4	株式会社山長商店		646-0011	和歌山県田辺市新庄町377	0739-22-2605
27	Ⅱ － 5	大阪府森林組合		569-1051	大阪府高槻市原1052番地の1	072-698-0950
32	Ⅱ － 6	須山木材株式会社		693-0006	島根県出雲市白枝町139番地	0853-28-0888
28	Ⅱ － 9	株式会社木栄		669-3821	兵庫県丹波市青垣町桧倉323番地の3	0795-87-5216
27	Ⅱ － 11	矢崎木材株式会社		567-0874	大阪府茨木市奈良町7番32号	072-622-6370
33	Ⅱ － 12	院庄林業株式会社		708-0013	岡山県津山市二宮22番地の1	0868-28-2111
34	Ⅱ － 13	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目1番1号	0823-71-7141
43	Ⅱ － 14	ランバーやまと協業組合		861-3544	熊本県上益城郡山都町杉木474-1	0967-72-3550
33	Ⅱ － 15	牧野木材工業株式会社		719-3205	岡山県真庭市草加部288番地8	0867-42-4321
33	Ⅱ － 16	銘建工業株式会社		717-0013	岡山県真庭市勝山1209	0867-44-2695
45	Ⅱ － 17	木脇産業株式会社		885-1105	宮崎県都城市丸谷町458	0986-36-0533
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
39	Ⅲ － 2	梼原町森林組合		785-0644	高知県高岡郡檮原町広野647番地	0889-65-0121
27	Ⅲ － 11	矢崎木材株式会社		567-0874	大阪府茨木市奈良町7番32号	072-622-6370
27	Ⅲ － 20	中畑木材株式会社		587-0042	大阪府堺市美原区木材通1丁目13番28号	072-362-6616
27	Ⅲ － 21	山下硝子建材株式会社		543-0052	大阪府大阪市天王寺区大道５丁目５番２号	06-6771-7341
27	Ⅲ － 23	村上木材株式会社		559-0025	大阪府大阪市住之江区平林南2-11-108	06-6685-0431
36	Ⅲ － 24	マツシマ林材株式会社		770-8001	徳島県徳島市津田海岸町3-28	088-662-5451
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
30	Ⅳ － 4	株式会社山長商店		646-0011	和歌山県田辺市新庄町377	0739-22-2605
32	Ⅳ － 6	須山木材株式会社		693-0006	島根県出雲市白枝町139番地	0853-28-0888
27	Ⅳ － 11	矢崎木材株式会社		567-0874	大阪府茨木市奈良町7番32号	072-622-6370
27	Ⅳ － 21	山下硝子建材株式会社		543-0052	大阪府大阪市天王寺区大道５丁目５番２号	06-6771-7341
36	Ⅳ － 24	マツシマ林材株式会社		770-8001	徳島県徳島市津田海岸町3-28	088-662-5451
27	Ⅳ － 28	株式会社プレカット中畑		587-0042	大阪府堺市美原区木材通1丁目13番28号	072-362-5859
34	Ⅳ － 30	中国木材株式会社 郷原工場		737-0161	広島県呉市郷原町字一ノ松光山626-2	0823-77-2223
33	Ⅳ － 31	株式会社光プレカット		702-8011	岡山県岡山市南区郡2999番地	086-267-2121
27	Ⅳ － 32	プレテック株式会社		559-0025	大阪府大阪市住之江区平林南2-11-108	06-6681-8022
36	Ⅳ － 33	株式会社ケイ・アール・ケイ・カキハラ		770-8001	徳島県徳島市津田海岸町3番18号	088-662-1022
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
27	Ｖ － 21	山下硝子建材株式会社		543-0052	大阪府大阪市天王寺区大道５丁目５番２号	06-6771-7341	○	
27	Ｖ － 34	株式会社町田工務店		591-8002	大阪府堺市北区北花田町４丁１１０番地8	072-255-2372	○	
27	Ｖ － 36	山要建設株式会社		543-0052	大阪府大阪市天王寺区大道５丁目５番２号	06-6773-1941	○	
27	Ｖ － 38	日本ウォールシステム株式会社		543-0052	大阪府大阪市天王寺区大道５丁目５番２号	06-6771-7251	○	
27	Ｖ － 81	YSOK建築工房		543-0052	大阪府大阪市天王寺区大道3丁目2番11号	06-6779-6358	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）							16	○	○
27	Ⅵ - 21	77317	山下硝子建材株式会社		543-0052	大阪府大阪市天王寺区大道5丁目５番２号	06-6771-7341	○	
27	Ⅵ - 34		株式会社町田工務店		591-8002	大阪府堺市北区北花田町４丁１１０番地8	072-255-2372	○	
27	Ⅵ - 35	76857	カネ福株式会社		590-0962	大阪府堺市堺区寺地町東１丁２－８	072-221-0783	○	
27	Ⅵ - 36	77319	山要建設株式会社		543-0052	大阪府大阪市天王寺区大道5丁目５番２号	06-6773-1941	○	
27	Ⅵ - 38	77395	日本ウォールシステム株式会社		543-0052	大阪府大阪市天王寺区大道5丁目５番２号	06-6771-7251	○	
27	Ⅵ - 43	77230	株式会社中土居工務店		577-0816	大阪府東大阪市友井５－５－３９	06-6725-0520	○	
27	Ⅵ - 45	76881	バル住宅販売株式会社		591-8002	大阪府堺市北区北花田町４丁１１９番地１０	072-255-8211	○	
27	Ⅵ - 46	77003	株式会社アイ・リンク		591-8002	大阪府堺市北区北花田町4丁111番地18	072-255-2372	○	
29	Ⅵ - 51	78054	株式会社　マイホームセンター		631-0044	奈良県奈良市藤ノ木台3-4-20	0742-45-6633	○	
27	Ⅵ - 54	77024	株式会社エムテック		556-0022	大阪府大阪市浪速区桜川3-4-24 カベタニビル3F	06-6567-6477	○	
27	Ⅵ - 66	77231	株式会社中嶋工務店		589-0023	大阪府大阪狭山市大野台6-1-5	072-366-6496	○	
27	Ⅵ - 68	77185	株式会社新宅工務店		534-0011	大阪府大阪市都島区高倉町２丁目３－１１	06-6922-1071	○	
27	Ⅵ - 81		YSOK建築工房		543-0052	大阪府大阪市天王寺区大道3丁目2番11号	06-6779-6358	○	
28	Ⅵ - 83		株式会社ハウジングネットワーク		662-0822	兵庫県西宮市松籟荘11番15号	0798-57-4555	○	
28	Ⅵ - 84		天の家株式会社		662-0842	兵庫県西宮市芦原町4番19号	0798-64-2245	○	
28	Ⅵ - 85		株式会社　柱		663-8246	兵庫県西宮市津門仁辺町7番5号	0798-37-0350	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
27	Ⅵ － 21	77317	山下硝子建材株式会社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	
27	Ⅵ － 34		株式会社町田工務店	0 戸	75 戸	0 戸	10 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	
27	Ⅵ － 35	76857	カネ福株式会社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
27	Ⅵ － 36	77319	山要建設株式会社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下			
27	Ⅵ － 38	77395	日本ウォールシステム株式会社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
27	Ⅵ － 43	77230	株式会社中土居工務店	0 戸	2 戸	0 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下			
27	Ⅵ － 45	76881	バル住宅販売株式会社	0 戸	16 戸	0 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	4以上			
27	Ⅵ － 46	77003	株式会社アイ・リンク	0 戸	12 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下			
29	Ⅵ － 51	78054	株式会社 マイホームセンター	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下		○	
27	Ⅵ － 54	77024	株式会社エムテック	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
27	Ⅵ － 66	77231	株式会社中嶋工務店	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下			
27	Ⅵ － 68	77185	株式会社新宅工務店	2 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
27	Ⅵ － 81		YSOK建築工房	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
28	Ⅵ － 83		株式会社ハウジングネットワーク	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	100 戸	300 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	4以上	3以下			
28	Ⅵ － 84		天の家株式会社	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	100 戸	300 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	4以上	3以下			
28	Ⅵ － 85		株式会社 柱	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	100 戸	300 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	4以上	3以下			
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
27	Ⅶ － 38	日本ウォールシステム株式会社		543-0052	大阪府大阪市天王寺区大道５丁目５番２号	06-6771-7251
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

＜様式 2-2・Ⅷ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
13	Ⅷ － 73	ハウスプラス住宅保証株式会社		108-0014	東京都港区芝5丁目33番7号 徳栄ビル本館4階	03-5962-3800
27	Ⅷ － 74	大阪府うちエコ診断士		543-0052	大阪府大阪市天王寺区大道5丁目5番2号	06-6779-6010
27	Ⅷ － 76	大阪府地球温暖化防止活動推進員		543-0052	大阪府大阪市天王寺区大道5丁目5番2号	06-6779-6010
27	Ⅷ － 77	一般社団法人住宅長期支援センター		540-0012	大阪府大阪市中央区谷町1丁目7-4	06-6941-8336
13	Ⅷ － 78	YKK AP株式会社		101-0024	東京都千代田区神田和泉町1番地	03-3864-2300
27	Ⅷ － 79	近畿エコガラス普及促進地域協議会		543-0052	大阪府大阪市天王寺区大道5丁目5番2号	06-6771-7341
13	Ⅷ － 80	株式会社ハウスジーメン		105-0003	東京都港区西新橋3-7-1 ランディック第2新橋ビル	03-5408-7440
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）近畿エコブランド住宅	（地域型住宅供給対象地域）近畿圏
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）近畿エコガラス普及促進地域協議会	（結成年）2009　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0096-0543	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	①開口面積の大きい掃き出し窓及びそれに準じる南面を除く3面は、遮熱効果の高いLow-eガラスを採用し、サッシ枠は樹脂製または断熱サッシ枠とする等の対策を講じて、省エネルギー基準はトップランナーを目指す。なお南面は断熱ガラス、サッシ枠とする。 ②紀州材を始めとする当グループの地域材は色合いが良く、艶が出る・目合いが良く、素直な木で狂いが少ない、また強度、耐久性に優れているという特性を有し、全国の基準を上回る非常に建材に適した材木である。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	①木の温もりを感じながらも、耐震性能は等級2を取得し、地震に強い家、構造的にも強固で災害にも強い。 ②建て方や外観は奇抜なものではなく、街並みに合った構造や色を選び、住み継ぎ易い住宅とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	①グループの地域材等は、独特の育成技術により、目込み（年輪幅が細かい）で、強度があり、耐久性に優れ、素直で狂いが少なく、更には色艶が良いデザインが特徴。 ②希望者には、窓採りデザイン通風シュミレーションを実施し、窓の仕様・配置、そして室内建具においても光と風が入るようにデザインを決める。	◎
④ ①～③の背景	①近畿圏は瀬戸内海式気候に属し、年間を通して温暖で、夏場は蒸暑地域である。都市部ではヒートアイランドによる熱帯夜の多さは本州随一である。 ②近畿圏は老朽化した旧耐震基準以前の木造住宅や、木造3階建狭小住宅が多く、日照・通風等の住環境上の課題も多く持っている。また密集市街地は、火災や地震の発生時等の災害に対して大きな課題がある。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	①国内の地域材は良質な木材資源に恵まれ、蓄積量も多い。しかし、その多くの蓄積木材を消費する程の需要が見込まれないのが現状で、近畿圏での消費は隣県に関わらず少ない。 ②関西の大消費地として近隣県の木材等を積極的利用し近畿圏の木材供給のバランスの均衡を図り、現在地域材の主たる消費地である首都圏より近い近畿圏での消費により、輸送でのCO2排出の削減も図る。	○

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：①標準仕様を設定し、高品質、低コストな資材の安定した供給体制を築く。	○
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：①開口部のサッシ枠は、樹脂製または断熱仕様とし、Low-eガラスを使用する。	○
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：①長期優良住宅の際は耐震性能は等級2以上とする。	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：①省エネ・エコに関する資材の情報を積極的に収集し、グループ内のみならず広く普及させる。 ②共同購買をすることにより、全体棟数把握とコスト削減を図り、構造材の他羽柄材、床合板、野地合板についても木材流通、プレカットは一元化する。	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：①各分野における情報をバランスよく把握し、タイムリーな対応を行う。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：①地域型住宅ブランド化事業から続く委員会（地域協議会）にて、生産の合理化に対する意見交換・共有を行える体制を構築している。 ②委員会が中心となって、施工進捗状況についても共有・意見交換を行えるよう実施する。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある →	内容：①事務局が中心となり、定期的に構成員間での研修会を実施し、情報共有を図り、技術力・経営力の向上、生産性の効率化の音頭取りをする。 ②グループ内で良質な建材の選定を行い、事務局が中心となり、規格化、共同購買リストを作成し、事前に年間の使用量の割り出しを行う。	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある →	内容：①当グループの定期研修会において、構成員相互の現場見学会、施工技術研修会、設計技術研修会を実施する。 ②性能評価機関を利用する事により、第三者・客観的な判断により施工基準の信頼性向上に努める。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある →	内容：①性能評価機関を利用し、第三者・客観的な検査を実施する事が出来、検査に対する信頼性向上に努める。 ②省エネ建築士やうちエコ診断士を育成する。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある →	内容：①「標準仕様書、見積書」を使用して、消費者への説明と契約書への記載を義務付けている。 ②長期優良住宅、認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅の各標準仕様書を作成する。	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある →	内容：①一般の住まい手向けの現場見学会及び住宅セミナーを実施する。 ②グループホームページ、各社ホームページに、ブログ等の施工現場ページとリンクし、住宅の進捗状況を掲載する。 ③地域型住宅の建設に関わった木工事、電気工事、給排水工事等主要な職種の職人名簿を作成し、有事の際に即対応する体制を構築する。	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある →	内容：当グループにおける週休2日工事を大幅に拡大するとともに、週休2日の実施に伴う必要経費を的確に計上するため、労務費等の補正の導入、共通仮設費、現場管理費の補正率の見直しを行う。	◎
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある →	内容：技能者の資格や現場の就業履歴等を当グループに登録・蓄積する建設キャリアアップシステムの稼働と、当グループ全ての建設技能者の加入を推進する。 また、技能・経験にふさわしい処遇（給与）が実現するよう、建設技能者の能力評価制度を策定していく。 さらに、能力評価制度の検討結果を踏まえ、高い技能・経験を有する建設技能者に対する工事での評価や当該技能者を雇用する専門工事企業の施工能力等の見える化の実現を目指す。	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある →	内容：当グループでは社会保険に未加入の建設企業は、グループへの加入を認めない仕組みを構築する。	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある →	内容：当グループでは設計段階から、建設工事の現場の施工条件を十分に調査した上で、(一人親方を含む)建設工事従事者の安全及び健康の確保に配慮した施工方法等を構築する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		施工会社と施主の間において、当補助金の受け渡しに関して合意書を交わし、確実に実施する。 当グループでは、各建設業者が自らの役割に応じた適切な安全衛生対策を講ずるよう、(一人親方を含む)中小の建設業者の安全衛生管理能力の向上に向けた教育等の支援を行う。			○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）近畿エコブランド住宅	（地域型住宅供給対象地域）近畿圏
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）近畿エコガラス普及促進地域協議会	（結成年）2009　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0096-0543	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：①設計図書、申請書類、リフォーム履歴情報などのデータ化を図り、情報共有体制を広く進める。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある → 内容：①住宅の設計・施工、維持管理、権利及び資産に関する住宅履歴情報を、蓄積・閲覧できるサービスを広く進めていく。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある → 内容：①半年、1年、2年、5年、以降5年毎、30年間の定期点検を、災害時には臨時点検を実施する。	◎
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：①メンテナンスは30年間の維持保全計画書に基づく。	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：①リフォーム基準は、既にグループ内で活用しています「長期優良住宅化リフォーム」のS基準、A基準に基づく。 ②具体的には新築同様に、劣化等級、維持管理等級、耐震等級、省エネ等級に基づく。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある → 内容：①長期優良住宅建築等計画に基づく維持保全、記録の作成・保存等。	◎
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある → 内容：①事務局、各構成員主体で住まい管理勉強会を実施する。 ②自治体などが行う勉強会の情報等を広く普及する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある → 内容：①事務局主体でDIY相談会体験会を実施する。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある → 内容：①各構成員主体の住まいの管理・DIY相談会体験会を実施する。	◎
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある → 内容：①維持管理検討委員会を設置し、点検方法・診断基準に準じたメンテナンスの実施と報告を義務付けている。	◎
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある → 内容：①維持保全計画書の作成、点検などの情報の共有を図る。	◎
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある → 内容：①維持管理検討委員会を設置し、点検方法・診断基準に準じたメンテナンスの実施と報告を義務付けている。	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある → 内容：①事務局自体が瑕疵保険取扱店となっており、発足当初より瑕疵保険はグループを上げて徹底してきた。現在も毎年必須の瑕疵保険講習を年2回実施している。 ②瑕疵が発生した場合の対応の手引きを作成し、住宅の引き渡し時に「重要事項説明書」にて説明を行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			①メンテナンスに関しても、窓採りデザイン通風シュミレーションの使用を検討中。 ②リフォームの際も、採光通風を考えた間取りを提案する。		○

エ．グループの技術力の向上

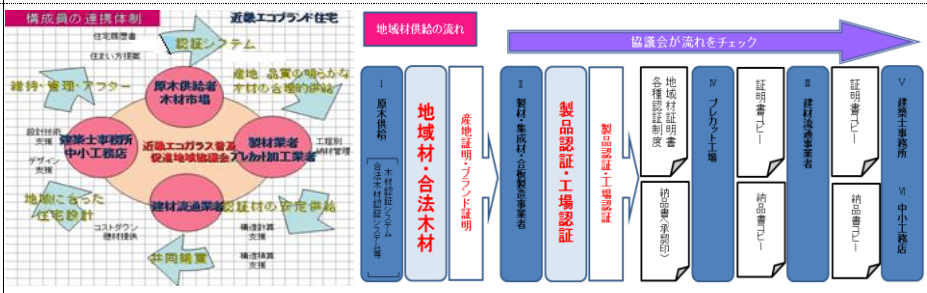
【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある → 内容：①事務局を中心とし、経験工務店による施工技術マニュアルを作成し、未経験工務店へ個別指導から定期勉強会を通じて、実績の水平展開を図る。	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある → 内容：①瑕疵保険検査による検査員の確認に基づく。	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある → 内容：①保証書の発行により確認する。	◎
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある → 内容：①木材メンバーと事務局が中心となり、需給計画の策定をする。	◎
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある → 内容：②地域材の魅力をより多くの消費者に知ってもらい、供給量の増加等、地域の活性化に繋げる。	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある → 内容：①共同購買や販促の一元化をする事により、業種ごとの合理化を図る。 ②一般向けに開催されるイベントにおいて地域材の魅力をPRし、一般消費者の認知度向上を図る。	◎
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　36	今年度の参加目標人数　22	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　36	今年度の参加目標人数　22	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある → 内容：①グループ事務局が、講習会開催情報の案内を全てのグループ参加事業者に案内し、省エネ技術講習会への参加促進を図る。 ②熟知している者の持ち回り講師制度も確立する。	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある → 内容：①近畿大学・岩前研究室の指導を頂き、省エネ性能に設計、施工に関する研修会を実施する。 ②新たな技術等の導入などをおこなった構成員がいた場合、現場見学などを開催し、構成員間のノウハウの共有化を図る。	◎
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある → 内容：①HEMSやスマートメーター等の測定機を導入し、実証実験を実施する。 ②うちエコ診断士による実証実験を実施する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			省エネに強い「うちエコ診断」の出来る人材」を育成する。		◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）近畿エコブランド住宅	（地域型住宅供給対象地域）近畿圏	
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）近畿エコガラス普及促進地域協議会	（結成年）2009 年	
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0096-0543		

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	グループ内の地域材、もしくは合法木材、PEFC、SGEC、FSC（国内・国外）認証を受けたもののいずれかを主要構造材に採用する。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	■ 50%未満　□ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		

b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：①地域材・建材の規格化、共同購買をする事により、全体棟数と使用量の把握を図る。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある →　内容：①地域材・建材の規格化、共同購買をする事により、コスト削減を図る。	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：グループ内で進捗管理表を作成しており、地域材の需給予定を把握する。	◎
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（1畳換算）10枚	○
	①-2 和瓦の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数：70坪	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算）12枚	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算）11枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：①先人の知恵から生まれた自然素材の活用。（漆喰壁、高窓・天窓、地窓、深い軒、雨戸、掃き出し窓、窓庇、日除け（すだれ・よしず・緑のカーテン）、格子、吹抜け、土間、欄間、続き間、縁側、囲炉裏、濡れ縁、植栽、前庭・坪庭・中庭等を推奨する）	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：①先人の知恵から生まれた自然素材の活用。（漆喰壁、高窓・天窓、地窓、深い軒、雨戸、掃き出し窓、窓庇、日除け（すだれ・よしず・緑のカーテン）、格子、吹抜け、土間、欄間、続き間、縁側、囲炉裏、濡れ縁、植栽、前庭・坪庭・中庭等を推奨する）	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：①四季を感じ、木土紙畳等の伝統的な自然素材を使いながら、現代風のデザインとの調和を求める。 ②屋根を和瓦等のデザインにしたり、和室を残したり、日本の古き良き伝統を受け継ぐものを奨励する	◎
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：①自動車車検と同様に、住宅も定期的な家点検、メンテナンス文化を醸成する。適度なメンテナンスが、長持ち住宅を生む。	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：①奇抜なデザインではなく、外観は街並みに合ったものや色を選ぶ。（飽きの来ないものを推奨） ②室内は耐震壁を除き、住まい手の自由に構成出来るようにする。	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：①先人の知恵である光や風を上手に取り入れる開口部である窓の位置と機能性をシュミレーションする。（「窓採りデザイン通風シュミレーション」を使用） ②高窓、地窓、掃き出し窓、格子、吹抜け、欄間、障子、すだれ、よしず、緑カーテン等を適材適所に利用する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		①先人の知恵である「風通しの良い家は、長持ち住宅」を当グループのパッシブ住宅コンセプトとする。 ②希望者には、「窓採りデザイン通風シュミレーション」に基づき、出来る限りウインドキャッチ出来るように開口部の位置と機能を決め、風の入り口、通り道、出口を設定する。	◎

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	①グループ内で施工等の技術支援をする。 ②グループ内で義援金や寄付を募る。	◎
平成28年熊本地震の復興に資する取組	①グループ内で施工等の技術支援をする。 ②グループ内で義援金や寄付を募る。	◎

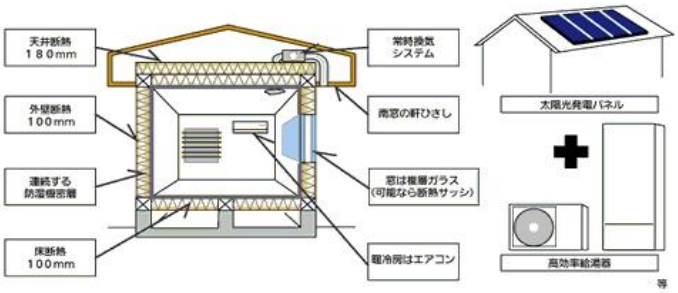
※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）近畿エコブランド住宅	（地域型住宅供給対象地域）近畿圏
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）近畿エコガラス普及促進地域協議会	（結成年）2009 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0096-0543	

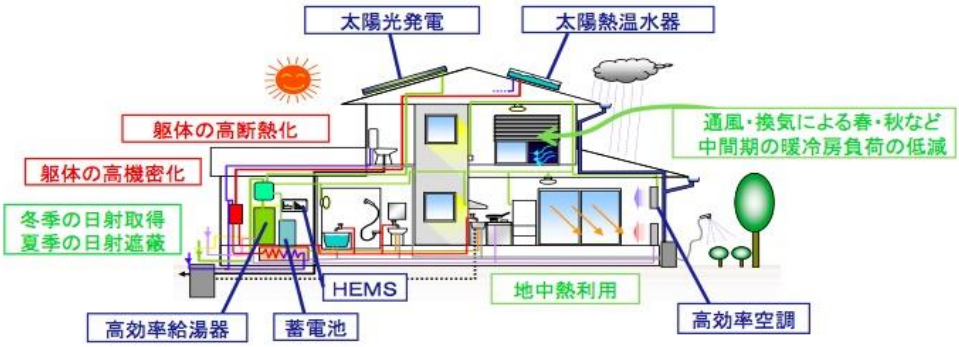
４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

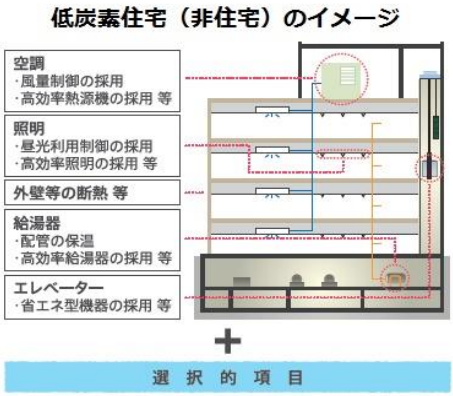
１．認定低炭素住宅
①当グループは長期優良住宅を優先的に建設するが、都市部等の狭小地（床面積が条件に合わない部分）が出て来る。その際は、高度省エネ型（認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅）を目指す。
②当グループは省エネ４等級の上のトップランナー基準で建てる住宅が多い為、認定低炭素住宅は条件に合致し易い。



２．ゼロ・エネルギー住宅
①新築・改修に関わらず、創電設備である太陽光ソーラーパネルやエネファームを設置予定の住宅は、ゼロエネルギー住宅を目指す。
②省エネ４等級の上のトップランナー基準なので、外皮の省エネレベルは高い。さらに、創電設備があればゼロエネルギー住宅にし易い。



３．優良建築物
①木造非住宅を建設する施工会社も沢山あるので、当グループのコンセプトである近畿エコブランド住宅の非住宅版としての取組みも推奨する。
②国土交通省様の建築物省エネ改修事業の取組み事例が沢山あるので、過去の実績とノウハウをもとに非住宅建築物の省エネ化を積極推進する。



※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。